

# 富山大学薬学部 学生後援会

## 平成 26 年度（第 17 回）総会報告書（抄）

平成 26 年 4 月 8 日（火）午後 1 時 30 分より  
富山大学杉谷キャンパス看護棟 2 階 22 講義室

次 第：

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
  - 5-1. 平成 25 年度事業報告 (p. 2)
  - 5-2. 平成 25 年度会計報告 (p. 8)  
監査報告 (p. 8)
  - 5-3. 新役員選出 (p. 9)
  - 5-4. 平成 26 年度事業予定（案）審議 (p. 10)
  - 5-5. 平成 26 年度予算（案）審議 (p. 13)
6. その他
  - 6-1. 学部生，大学院生の研究活動 (p. 14)
  - 6-2. 薬学部創立 120 周年記念事業について (p. 14)
7. 閉会

総会終了後，御質問・御要望などに関して自由討論

中谷後援会会長のご挨拶の後、細谷薬学部長より薬学部の現状（薬剤師国家試験や就職状況など）や薬学部創立 120 周年記念事業に関する説明があった。その後、中谷会長が議長に選出され、中谷会長の議事進行により、総会が進行された。

## 5. 議事

### 5-1. 平成 25 年度事業報告

#### 1. 平成 25 年度（第 16 回）総会の報告

平成 25 年 4 月 4 日、入学式終了後午後 1 時 30 分より平成 25 年度総会を看護棟 2 階 22 講義室において開催しました。新会員（新入学生保護者）の他、薬学部教員も多数出席して行われました。中谷後援会会長のご挨拶に引き続いて、今中薬学部長から薬学部の現状（薬剤師国家試験、就職活動など）についてお話がありました。また、保健管理センター杉谷支所 臨床心理士 酒井先生から、特に新入生の保護者の方にお話（悪質な勧誘など）がありました。その後、中谷会長が議長に選出され審議に入り、平成 24 年度の事業報告と決算の承認、ついで 25 年度の正会員理事 32 名、教職員理事 9 名 (TOEIC 講習補佐を含む) が承認されました。ついで、事業計画と予算の審議に入り、昨年度と同様に国家試験及び TOEIC 講習補助を主目的とする課外教育援助は約 240 万円、課外活動援助は 70 万円とする等の提案が承認されました。その後、学内理事により、薬学科 5、6 年生を対象とした国家試験対策支援のスケジュール、及び TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援についての説明がありました。

## 5-1. 平成 25 年度事業報告 (続き)

学生後援会は、薬剤師国家試験対策や TOEIC 対策、卒業論文発表会を支援しております。

### 2. 平成 25 年度活動報告

#### 課外教育 (国家試験対策)

薬学部 6 年制導入後の第三期生が 2013 年度に最終学年を迎え、2014 年 3 月 1 日、2 日に新卒者 56 名 (および既卒者 20 名) が薬剤師国家試験を受験しました。先日、3 月 31 日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です (前々回全国合格率 : 88.31 %、前回全国合格率 : 79.10 %、今回全国合格率 : 60.84 %、詳細は略)。

2013 年度に学生後援会として、薬学科 6 年次生向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール： 講義 (44 コマ) 11 日間、模擬試験 (5 回) 8 日間  
新卒者 56 名および既卒者 1 名の計 57 名が受講。

#### 費用

- |  |                  |
|--|------------------|
| ・ 講習会 (講義料 44 × 28,000 円 + 宿泊旅費 11 × 36,000 円) : | 1,628,000 円 (税抜) |
| ・ セレクト模擬試験 (57 名 × 3,000 円 × 2 回) :              | 342,000 円 (税抜)   |
| ・ 統一模擬試験 (57 名 × 3,000 円 × 3 回) :                | 513,000 円 (税抜)   |
| ・ その他 (マークシート返送用送料 1,100 円 × 5 回) :              | 5,500 円 (税抜)     |

総計 (小計 2,488,500 円 - 割引 100,000 円 + 消費税 99,625 円)                      2,488,125 円 (税込)

国試対策一式の総額は 2,488,125 円で、57 名の受講者一人あたり約 43,652 円となりました。各受講者から 28,000 円 (/1 名) × 56 名 (新卒者) + 43,652 円 (/1 名) × 1 名 (既卒者、支援対象外) = 1,611,652 円を集金し、残り 876,473 円 (新卒者一人につき約 15,652 円相当) を学生後援会から支援いただきました。これに加え、各受講者は講義テキスト (青本 : 28,560 円) を別途購入いたしました。

## 5-1. 平成 25 年度事業報告（続き）

### 2. 平成 25 年度活動報告（続き）

#### 課外教育（TOEIC 支援）

##### A. 報告

1) TOEIC 講習会（2013 年 11 月 2 日（土）2 講師，入門／スコアアップ 2 クラス制で実施）

趣旨：創薬科学科学生の就職対策支援として外部講師（イーオン社）による TOEIC 講習会を企画・支援（2 ヶ月後の 1 月の IP テストも念頭に指導）。

薬学科学科学生も参加可能（講習会 5000 円の参加費，学内 IP テストは実費で参加）。

2013 年の支援活動のポイント：

：①スコアアップコースを導入し，2 クラス制での実施（今年で 2 年目）。

②経費の昨年度の教科書の変更（依頼先の要望）により講習会の教材費が一人当たり 1000 円分上がった（2000 円→3000 円）。\*その代わり富山大学と TOEIC 側との提携によりキャンパステストの経費は 740 円ダウン（4,040 円→3,300 円）。

③1 クラス分の講師代と添削費を薬学部長裁量経費で対応（継続）。

結果概要：参加者は昨年度の 64 名から 35 名（申込み 43 名，欠席 8 名）へ後退（前々年は 45 名）。（昨年度①の 2 クラス制導入で上級コースの参加が多かったが，今年は改修工事による日程上の不都合等もあり上級コースの参加者が減少）。

詳細：(1) 入門コース：創薬科学科 3 年 24 名(欠 3)，4 年 5 名(欠 4)，  
薬学科 3 年 5 名，4 年 1 名  
(2) スコアアップコース：創薬科学科 3 年 7 名(欠 1)，4 年 0 名，  
薬学科 3 年 1 名

合計 申込み 43 名（創薬科学科学生 36 名）

出席 35 名（創薬科学科学生 28 名）

\*薬学科学科学生 7 名は参加費 5000 円を払っての参加。

経費：

1 クラス 1 人の講師分+（教材費+事後学習のメール添削費）：学生後援会で負担

		単価	計
講師（1 名）	5 時間	¥21,000	¥105,000
教材費（入門コース）	41 名	¥3,000	¥123,000
教材費（スコアアップコース）	2 名	¥1,000	¥2,000
添削費	28 名	¥800	¥22,400
交通費	2 回	¥8,080	¥16,160
講師宿泊費	2 名	¥6,000	¥12,000
		合計	¥280,560

注 1：前年度は¥278,184。

注 2：1 クラス分の講師，交通費と添削費を薬学部学部長裁量経費で負担（¥121,160）（前年度は¥133,200）。

【講習会についての学生からの評価】五段階評価（1 = 強く否定 ～ 5 = 強く肯定）

入門コース（N=23）

		1	2	3	4	5
レッスンに満足？	人数	0	0	1	9	14
	%	0%	0%	3%	39%	61%
レッスンの内容は理解できた？	人数	0	0	2	11	12
	%	0%	0%	7%	48%	52%
身につけている実感がある？	人数	0	0	5	13	5
	%	0%	0%	22%	57%	22%
教師に満足？	人数	0	0	0	4	19
	%	0%	0%	0%	17%	83%
さらに研修を続けたい？	人数	0	1	3	11	8
	%	0%	4%	13%	48%	35%

- TOEIC の内容や対策を知ることができてよかったです。
  - 説明がわかりやすかったです。
  - I enjoyed this class!
  - 英語で伝えたいことを表現するのは難しいと思った。
  - 楽しかったです。
  - 入門コースだったので仕方ないけど、少し問題が簡単
- だったような気がします。楽しかったです。
  - 今まで知らなかった TOEIC についてしることが出来てよかったです。
  - TOEIC の心構えがよく分かりました。質問を考えることの難しさもよく分かりました

スコアアップコース (N=7)

		1	2	3	4	5
レッスンに満足?	人数	0	0	1	0	6
	%	0%	0%	14%	0%	86%
レッスンの内容は理解できた?	人数	0	0	0	3	4
	%	0%	0%	7%	43%	57%
身につけている実感がある? (記入漏れ:1名)	人数	0	0	2	2	2
	%	0%	0%	33%	33%	33%
教師に満足?	人数	0	0	1	1	6
	%	0%	0%	4%	14%	86%
さらに研修を続けたい?	人数	0	1	2	1	3
	%	0%	4%	33%	17%	50%

- 可能なら平日の方がよい。音読は大事。
- 親しみやすい先生で、説明もわかりやすく勉強になりました。英語の勉強を頑張ろうと思います。
- 改めて音読の大切さを再認識しました。
- 勉強の仕方がよく分からなかったのが良かったです

2) TOEIC IP テスト (2014年1月11日(土)実施)

参加人数: 37名 1) 参加した創薬3,4年次学生: 創薬科学科3年15名+4年17名\*=32名  
 =受検料支援29名+4年次3名の自費参加  
 2) 参加した薬3,4年次学生: 薬学科3年3名+4年2名=5名(自費参加)  
 支援経費: 受験料 3,300円 × 29名 = 95,700円

IP テストの成績:

	受検者		受検料支援		11月受講者		うち入門コース		うちスコアUPコース	
	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均
合計点数	37	481.2	29	471.2	18	488.9	15	465.3	3	606.7
リスニング		254.2		250.2		263.6		256.0		301.7
リーディング		227.0		221.0		225.3		209.3		305.0

- 【ポイント】① 受検者は増えた (24名から37名に)。  
 ② 平均点は2012年度の493.8点(受講者)から488.9点に。(参)2011年度の受講者平均は511.2点。

B. 課題と対策

<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援としては安定化しつつある(講習会への学生の肯定的評価, TOEIC 学習意識の浸透)。</li> <li>検定料安くなり IP テストの受検率は改善(昨年度24名から37名)。→ 今後もアピール。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講習会の参加人数が不安定。→ 日程の確認, 告知の徹底。</li> <li>IP テストの成績が下降。→ 受検者層の拡大とも関連するので, 一概に良し悪しは判断できない。初回の IP テストは出発点。就職活動段階まで含めた長期的な学習姿勢の形成が重要。</li> </ul> <p>(対策)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>就職活動段階での TOEIC 点数調査とその結果の新しい学生への紹介(学習への刺激)。</li> <li>コース内容の調整(点数が低いリーディング部分への学習指導の強化など)</li> </ol>
---

## 5-1. 平成 25 年度事業報告（続き）

### 2. 平成 25 年度活動報告（続き）

#### 課外教育（卒論発表会支援）

平成 26 年 2 月 28 日に、平成 25 年度薬学部卒業研究発表会が本学杉谷キャンパス講義棟で行われました。創薬科学科生は 1 年間にわたる卒業研究の成果を、薬学科生は中間発表として実務実習（事前学習）および共用試験の中断を除く約 8 ヶ月間の成果をポスターにまとめて発表しました。学生は、各自が作成したポスターを掲示し、ポスターの前に立って、多数の職員及び学生に対して研究成果を発表・討論しました。例年通り、活発な討論が繰り広げられ、会場は熱気に包まれておりました。来場した教員、大学院生、学部生（3 年次生を含む）により投票が行われ、創薬科学科生では最優秀発表賞に 1 名、優秀発表賞に 5 名が、薬学科生では優秀ポスター発表賞に 4 名が選ばれ、賞状と副賞が贈られました。

学生後援会では、課外教育支援の一環として、これらの賞に対する賞状と副賞（薬学科生は賞状のみ）を提供するとともに、会場では来場者向けの清涼飲料および菓子類の提供を行いました。

## 5-1. 平成 25 年度事業報告（続き）

### 2. 平成 25 年度活動報告（続き）

#### 課外活動に対する補助金

各課外活動団体から出された申請書に基づき、薬学部学生の在籍者数や申請内容を考慮し、平成 25 年度の標記補助の金額を以下のように決定し、支給しました（詳細は略）。

#### 奨学資金援助

緊急に資金が必要と認められる学生に対し、援助のための奨学資金の貸与を行っています。

平成 25 年度の現在における奨学資金貸与はありません。これまでに貸与した方は 22 名であり、貸与中の状況は、以下の通りです（詳細は略）。

#### 広報

本学薬学部のホームページに学生後援会用の欄が設けられています。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。平成 25 年度総会および保護者懇談会の報告を掲載するとともに、「学生の課外活動に関する援助」および「学生に対する奨学資金援助」の案内等も掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

学生後援会ホームページ：<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

#### 保護者懇談会

大学（杉谷キャンパス）祭開催期間に合わせ、平成 25 年 10 月 26 日（土）の午後 1 時半より保護者懇談会を附属病院臨床講義室 I にて開催しました。約 100 名の保護者の皆さまにご参加頂きました。最初に中谷会長から御挨拶を頂戴し、引き続き酒井副学部長から薬学部の現状についてお話を頂きました。また、本学保健管理センターカウンセラーの酒井先生から、不登校・無気力、カルト勧誘、デート DV などに関して、保護者への注意喚起が行われました。その後、学生後援会担当教員から、国家試験対策、TOEIC 対策、課外活動援助などの中間報告が順次行われました。懇談会終了後、薬学部施設の見学会を行いました。

#### 入会状況

平成 25 年度の新規加入者は 114 名（新入生薬学科 52 名、新入生創薬科学科 48 名、在學生薬学科 10 名、在學生創薬科学科 4 名）（12 月 12 日現在）でした。その後も、在學生薬学科 4 名、在學生創薬科学科 2 名の入会（3 月 6 日現在）を受け付けました。未入会の方には、本会の趣旨をお伝えし、ご入会をお願いしております。

**以上の平成 25 年度事業について、各担当理事から報告が行われた。**

## 5-2. 平成 25 年度会計報告

以下、本会計および緊急対策会計、奨学資金会計の収支決算および監査の報告があった。

平成 25 年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通りご報告致します。

(自 平成 25 年 3 月 1 日 ～ 平成 26 年 2 月 28 日)

### 収支決算報告書

表 1-1. 学生後援会本会計収支報告

<略>

表 1-2. 学生後援会課外教育振込口座収支報告

<略>

表 2-1. 緊急対策会計収支報告 (財源の部)

<略>

表 2-2. 緊急対策会計収支報告 (積立の部)

<略>

表 3. 奨学資金会計収支報告

<略>

収支監査報告

<略>



### 5-3. 新役員の選出

#### 平成 26 年度役員を選出

役員名簿

#### 正会員理事

会 長：                    中谷 隆正            (薬学科)  
他 副会長： 1 名， 監事： 1 名， 理事： 30 名

#### 学内理事

副会長：                    細谷 健一            (薬学部長)  
庶 務：                    南部 寿則            (分子合成化学)  
入会・人事：              廣瀬 豊              (遺伝情報)  
課外教育  
  国家試験：              杉本 健士            (薬品製造)  
  TOEIC：                  片桐 達雄            (生物)  
  TOEIC 講習補佐：      名執 基樹            (独語)  
課外活動・奨学資金：    藤 秀人              (医療薬学)  
会 計：                    加藤 敦              (病院薬剤部)  
広 報：                    辻 泰弘              (医療薬学)  
監 事：                    辻 泰弘              (医療薬学)

**会長および副会長の留任が承認され、学内外の新理事が承認された。**

#### 5-4. 平成 26 年度事業予定 (案) 審議

##### 平成 26 年度事業計画案

#### 1. 課外教育援助[国家試験対策支援 (薬学科 6 年生対象)]

平成 26 年度は、新カリキュラム導入後の第 4 期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科 6 年生を対象に以下の内容を予定しております。

・平成 26 年	5 月頃	国家試験についてのガイダンス
・	5 月末頃	セレクト模試 I (薬学ゼミナール)
・	7 月末頃	セレクト模試 II (薬学ゼミナール)
・	9 月頃	全国統一模擬試験 I (薬学ゼミナール)
・	11 月頃	予備校によるガイダンス
・	11~12 月頃	予備校による講習会
・	12 月中旬頃	全国統一模擬試験 II (薬学ゼミナール)
・平成 27 年	1 月頃	模擬試験 (薬学ゼミナール以外)
・	2 月上旬頃	全国統一模擬試験 III (薬学ゼミナール)
・	3 月上旬	第 100 回薬剤師国家試験

平成25年度の国家試験は、前年度と比較して、全体的に難易度が高くなり、新傾向の問題が増加しました。物理・化学と生物、生物と薬理など科目の壁を越えて、全ての科目を医療に繋げた問題が多くなりました。さらに、式やグラフといった実験結果などが与えられ、そこから正解を導き出す「考える力」を試す問題や、医療現場でのより実践的な問題（問題解決能力を問う）が増えました。今後もこの傾向はしばらく続くと予想されております。付け焼き刃の表面的な理解では対応が難しいと予想されますので、学生には、例年よりも早めに対応を始め、コツコツと地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。

平成26年度の国家試験対策は、平成25年度の対策（講習会および模擬試験）を基本に、少し全体のスケジュールを早め、講習会では今後の傾向に沿った内容を追加するなどの支援を行う予定です。さらに、試験情報等も随時、受験生へ伝えていく予定です。

## 5-4. 平成 26 年度事業予定 (案) 審議(続き)

### 平成 26 年度事業計画案 (続き)

#### 1. 課外教育援助[TOEIC 支援]

以下の形で TOEIC 講習会・キャンパステストの企画・支援を行いたいと考えています。

##### A. 概要

これまでの以下の枠組みを踏襲

1. 創薬科学科の学生が支援対象（講習受講費と 1 回分の教科書代，キャンパステスト 1 回分の支援）。それ以外の薬系学生（3 年次以降の学部学生，大学院生）が講習会に参加を希望する場合には，参加費として 5000 円を求める（教科書代込み）（キャンパステストは自己負担での参加が可能）。
2. 創薬科学科 3 年生以降でも講習会受講を後援会が支援（創薬科学科については受講料を免除。繰り返し受講を含む）。
3. キャンパステストは事情により受験できないケースも考え，創薬科学科 3 年次ないし 4 年次いずれかにおいて受験する分を支援するものとする（いずれも 1 月実施の試験 1 回分が対象）。
4. オリエンテーション等で，3 年次からの英語学習の意義と後援会の TOEIC 支援活動について説明し，英語学習意識の浸透をはかる。

##### B. 留意点および新しい対策

###### 1. TOEIC 講習会

継続し 2 クラス制度で実施。

(1) 入門コース：リスニングを中心に TOEIC500 点台を目指す学習法を学ぶ。

(2) スコアアップコース：リーディング対策などを加え 700 点台を目指す学習法を学ぶ。

その際：

- ・引き続き 1 クラス分の講師代の学部からの支援を依頼（学部長裁量経費等）。
- ・コース内容の詳細については，今回，平均点が前年を下回ったこともあり，依頼先の講師と連絡を取りながら検討。
- ・IP テストの受検率 UP を念頭に置き，IP テストを学習の出発点とするよう指導。

###### 2. IP テスト（キャンパステスト）

4 月の学年別オリエンテーション，TOEIC 講習会内（講師に依頼），講座への告知により，TOEIC 対策の出発点としての理解を浸透させる。

###### 3. 新たに就職活動段階での TOEIC 点数の到達度調査を実施

各研究室に簡単なアンケートを依頼。学習の最終到達度を見極めるとともに，その結果を新しく TOEIC に取り組むことになる学生にも示し，学習のヴィジョンを与える。

#### 5-4. 平成 26 年度事業予定（案）審議(続き)

#### 平成 26 年度事業計画案（続き）

##### 2. 課外活動援助

例年通り，各課外活動団体からの申請があれば，薬学部学生の所属数に基づき，既定の範囲内で援助を行う。

##### 3. 奨学資金援助

未返還者への督促を行うとともに，貸与希望者に返還計画の遵守を徹底する。

##### 4. 広報活動

薬学部ホームページを用いて，後援会活動の報告等を活発に行う。

##### 5. 保護者懇談会の開催

10 月 25 日（土）（杉谷（医薬系）キャンパス祭開催時）に開催予定。多数の保護者の方の参加をお願いします。

**以上，平成 26 年度事業計画が説明され，承認された。**

5-5. 平成 26 年度予算（案）審議

表 4-1. 学生後援会本会計予算（案）

<略>

表 4-2. 学生後援会課外教育振込口座会計予算（案）

<略>

表 5. 緊急対策会計予算（積立の部）（案）

<略>

表 6. 奨学資金会計予算（案）

<略>

以上，予算案が承認された。

## 6. その他

### 6-1. 学部生、大学院生の研究活動

学会での受賞等

- ・ 優秀発表賞（日本薬学会第 133 年会 平成 25 年 3 月）
- ・ 学生ベスト発表賞（日本生化学会北陸支部第 31 回大会 平成 25 年 5 月）
- ・ 優秀発表賞（第 30 回和漢医薬学学術大会 平成 25 年 8 月）
- ・ 優秀発表賞（第 64 回日本薬理学会北部会 平成 25 年 9 月）
- ・ 鈴木紘一メモリアル賞（第 86 回基日本生化学会大会 平成 25 年 9 月）
- ・ 優秀賞（第 12 回次世代を担う第 86 回基日本生化学会大会 平成 25 年 9 月）
- ・ 優秀発表賞（口頭）（平成 25 年度有機合成化学北陸セミナー 平成 25 年 10 月）
- ・ 優秀発表賞（ポスター）（平成 25 年度有機合成化学北陸セミナー 平成 25 年 10 月）
- ・ 優秀発表賞（ポスター）（平成 25 年度有機合成化学北陸セミナー 平成 25 年 10 月）
- ・ 優秀発表賞（ポスター）（平成 25 年度有機合成化学北陸セミナー 平成 25 年 10 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 125 回例会 平成 25 年 11 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 125 回例会 平成 25 年 11 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 125 回例会 平成 25 年 11 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 125 回例会 平成 25 年 11 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 125 回例会 平成 25 年 11 月）
- ・ 優秀演題発表賞（第 34 回日本臨床薬理学会学術総会 平成 25 年 12 月）

### 6-2. 薬学部創立 120 周年記念事業について

本事業は、富山大学薬学部創立 120 周年を迎える年に薬学部研究棟の耐震改修が完了することを記念し、薬学部・同大学院の教育・研究環境整備や国際交流活動支援、教育・研究活動支援を目的としております。学生後援会会員の皆様には、多大なご寄付を賜わりまして心より御礼申し上げます。本年 5 月には、「富山大学薬学部創立 120 周年記念式典開催」と「記念誌発刊」を予定しております。本事業の詳細は、富山大学薬学部創立 120 周年記念事業ホームページ (<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/120anniversary/120.html>) をご覧ください。

**総会終了後に質疑応答を行った。緊急対策積立や TOEIC 対策に関する質問があり、清水准教授（会計担当）、細谷学部長、名執教授（TOEIC 補佐担当）からご回答があった。その後、希望者を対象に薬学部施設の見学会を実施した。**